

学校経営マネジメント ～質の高い学校経営の実現を目指して～

“Happy♪”
「通いたくなる学校」 「働きたくなる学校」

【二中ゾーンの義務教育を修了した時の姿】
郷土「狛江」を愛する姿
互いに感謝の気持ちをもつ姿
地域の人へ気持ちよく挨拶できる姿
夢や目標をもって、他者と協働しながら前向きに挑戦する姿

- 【教育目標】
- 1 相互敬愛 「自他の生命を尊重し、互いに敬い、認め大切にしよう生徒」(人間関係形成能力)
 - 2 自主自律 「自ら学び考え、自らを律しつつ、主体的に行動する生徒」(問題発見・解決能力)
 - 3 意志と実践 「夢や目標の実現に向け、強い意志をもち、前向きに実践する生徒」(実践力)



子供ファーストの教育活動の推進

【知】“生徒が主語”の学び

- 探究する基盤となる基礎的・基本的な学びを身に付ける。
- 自分で問いを立て、必要な情報を集めて整理・分析し、根拠をもってまとめ・表現し、その過程で振り返って問いを更新できる。
- デジタルの活用、対話等を通じて、多様な考えに触れ、互いに認め合う等、仲間同士を敬愛する。
- CS二中ゾーンの連携を強化し、小中9年間を見通して自身の成長する姿を考えることができる。

【徳】人権尊重と豊かな人間性

- いじめに関する授業(道徳・学活)の各学期実施し、「いじめをしない・させない・見逃さない・見て見ぬふりをしない」態度を身に付ける。
- WEBQUを活用し、学級・学年の指導での生徒理解により、相互に良好な人間関係を構築する。
- 人権週間の活用など、自分自身に自信をもち、自分の良さに気付くことができるようにする等、自尊感情を育成する教育を推進し、道徳心や人権尊重の精神を確実に身に付ける。

【体】健康教育の充実によるウェルビーイングの向上

- 「生命尊重」を第一に考え、生涯を通じて心身の健康を保持増進、幸せな生活を送ることを目指す探究心を身に付ける。
- 持久力の向上、体育理論・保健学習・体づくり運動の充実、がん教育を推進するとともに、運動に関する二極化の実態をふまえた意図的・計画的な指導により、主体的に運動に取り組むことができる態度を身に付ける。
- 生涯にわたり健康な生活が送れるよう、薬物乱用・飲酒喫煙防止教室を実施し、薬物の被害から身を守るための知識を身に付ける。

土台となる安心安全・多様性の尊重

特別支援教育の充実・推進

- 教育相談の充実、連携型個別指導計画及び学校生活支援シートを作成・活用する。
- 各学年に配置した特別支援教育コーディネーターによるリーダーシップと特別支援校内委員会を開催する。(週1回の定例開催)
- くすのき教室との連携を強化し、子供の多様性を尊重し、「誰一人取り残さない教育」を推進する。

教育活動を推進する「学びの専門職」集団

安心・安全な学校生活

- 共通実践の企画調整の場「生活指導小委員会」の定例化による生活指導上の諸問題の未然防止と組織的な対応を徹底する。
- 「狛江二中いじめ防止基本方針」の活用、教育相談コーディネーターやスクールカウンセラーを含んだ教育相談体制の充実により、いじめ・不登校の未然防止への取組を推進する。
- 自殺防止に向け、「困難やストレスへの対処方法を身に付けるための授業」を保健体育、道徳や学級活動等において1単位時間確保し、SOSの出し方に関する教育を着実に進行。
- 実践的な避難訓練の実施、防災マニュアルの策定、交通安全指導、セーフティ教室、薬物乱用防止教室・飲酒喫煙防止教室の実施(1, 2年)、「学校SNSルール」を活用したデジタルシチズンシップ教育の推進、救急救命講習会の実施(3年)など安全指導を徹底する。
- 子供たちの視点に立って危険な箇所を見逃さないよう、施設点検を徹底する。

「働きがい」があり「働きやすい」職場環境づくり

「働きやすい」職場環境作り～働き方改革の具体的取組

- 職員会議、職員朝会等を大幅に削減し、会議を入れない時間を設定するなど心にゆとりを持たせるようにすることで、勤務時間の短縮を図る。
- 相談しやすい、話しやすい雰囲気を作り、居心地のよい職員室を実現する。
- 教材、会議資料、配布物等のペーパーレス化を推進する。
- 時差勤務及びcachattoを活用したテレワークを積極的に活用する。

「働きがい」の醸成～人材育成

- 4名程度のグループを編成し、年間を通じて日常的に授業を見合う機会を設定し、互いの授業改善を図る。
- 校内OJを充実させ、教員同士が互いにコミュニケーションを図りながら、資質・能力を身に付ける。
- 服務事故防止研修の充実し、「服務事故を起こさない」職場の雰囲気を醸成する。
- 大学生(TA、実習生、インターンシップ等)を積極的に受け入れる。